PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2026 年 9 月 30 日

8か国の橋梁技術者が来日

災害や老朽化に対応する日本の維持管理技術を学ぶ

独立行政法人国際協力機構（JICA）関西センターは、9 月 25 日から 11 月 5 日まで、研修プログラム「橋梁維持管理（技術者向け）」を実施しています。（協力：本州四国連絡高速道路株式会社）

本研修には、パプアニューギニア、サモア、ジブチ、モザンビーク、ベトナム、ザンビア、ルワンダ、ブータンの 8 か国から、橋梁の設計、施工、維持管理を担う政府および政府関係機関の技術者 8 名が参加しています。

参加者は、瀬戸大橋やしまなみ海道をはじめとする日本の橋梁技術や維持管理手法について学び、自国の橋梁インフラの安全性向上や持続可能な橋梁管理の実現に向けたアクションプランの策定に取り組みます。特に、橋梁の定期点検による予防保全、劣化状況に応じた補修・補強、長期的な維持管理計画の策定など、日本で培われてきた橋梁の長寿命化技術やマネジメント手法について理解を深めます。

日本は、地震や台風など橋梁にとって厳しい自然条件にさらされながらも、高度な点検・維持管理技術によってインフラの安全性と機能を維持してきました。本研修では、こうした日本の橋梁維持管理に関する知見や実践事例を学び、各国の橋梁インフラの安全性向上や長寿命化につなげることを目指します。

道路や橋梁は、人や物の輸送のみならず、経済活動や地域間交流を支える重要な社会基盤です。一方で開発途上国では、橋梁の維持管理に必要な技術や人材、予算が十分に確保されていないケースも多く、老朽化による事故や機能低下への対応が課題となっています。日本が長年培ってきた橋梁の設計・施工・維持管理に関する知見を学ぶことは、各国における橋梁インフラの安全性向上や長寿命化の推進、持続可能な社会基盤整備を進めるうえで大いに参考になることが期待されます。

以下の日程で、参加者が実際に現場で学ぶ様子をご取材いただけます。ぜひご検討ください。

日程	時間	内容	場所
10/20（火）	10:00-12:00	視察:NEXCO 西日本･新名神淀川橋建設現場	新名神高速道路 淀川橋建設現場（大阪府大阪市西淀川区）
10/21（水）	10:00-16:30	実習:橋梁点検･維持管理	本四高速しまなみ今治管理センター（愛媛県今治市山路 751-2 ）
10/22（木）	09:00-16:30	実習:橋梁点検･維持管理 視察:瀬戸大橋記念館	本四高速坂出管理センター（香川県坂出市川津町下川津 4388-1）

PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2026 年 9 月 30 日

			瀬戸大橋記念館　（香川県坂出市番の州緑町 6-13）
10/23（金）	10:00-16:00	実習：橋梁点検・維持管理 視察：高架橋はく落対策工事、耐震補強工事、大鳴門橋（渦の道）	本四高速鳴門管理センター（徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字大毛 18 ）
10/28（水）	10:00-16:30	実習：コンクリート構造物の劣化原因、補修補強工法	株式会社ケミカル工事 本社（兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町 5-5）

※当日は日本語⇔英語の通訳１名が同行します。

－ご取材いただける場合は以下まで事前にご連絡ください－

問い合わせ先
JICA 関西 研修業務課